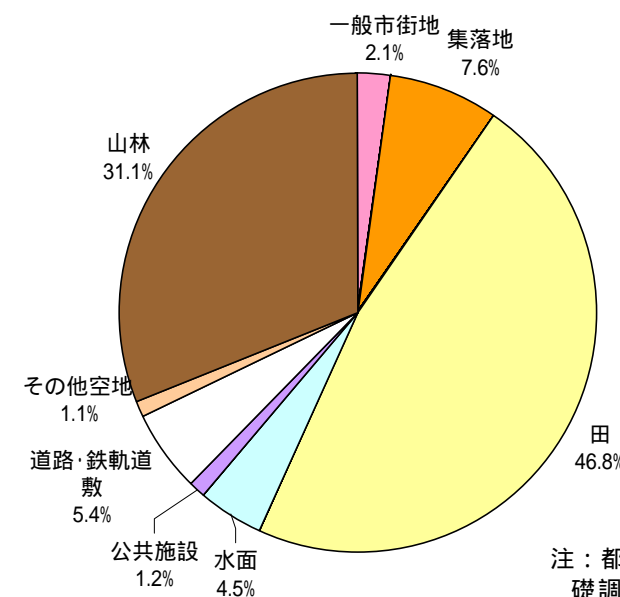
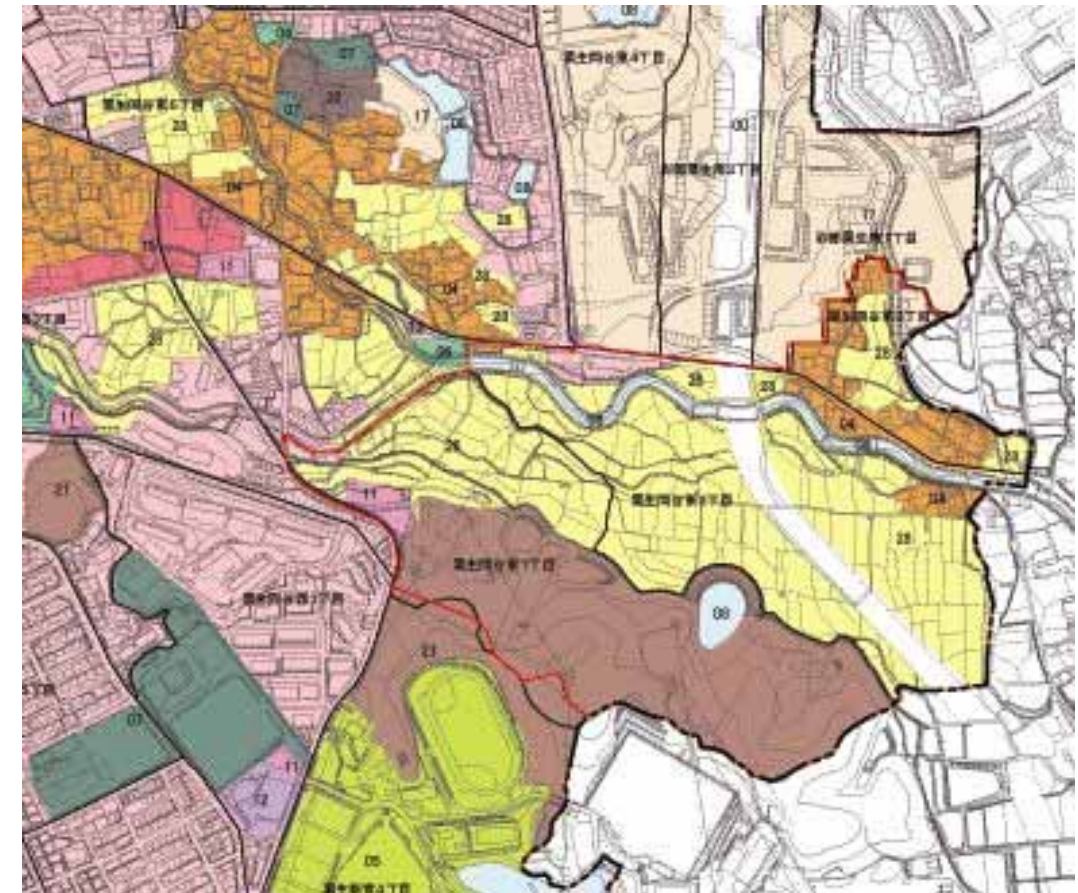


川合・山の口地区（栗生間谷東一～三丁目の一部）

地区の概要

項目	概要
対象地区の概況	(位置・面積) ・市域東部、茨木市（市街化調整区域）と接し、勝尾寺川沿いに位置する ・区域面積は約 38ha (平成 17 年度人口・世帯 丁目ベースで集計、対象地区人口と一致しない) ・634 人、286 世帯 ・0-14 歳 10.1%、65 歳以上 18.5%
上位計画での位置づけ	(第 4 次総計) ・東部地域の将来像として国際性をいかしたまちづくりなど (都市 MP) ・北部は市街化区域編入予定地区、南部は市街化区域編入検討地区として位置づけ (みどりの基本計画) ・河川のみどりやまとまった農地・ため池などのみどりの保全など (都市景観基本計画) ・昔からの集落地区 / 農地・ため池の残る地区として、水と緑の景観や落ち着きあるまちなみの保全等を位置づけ
地形	・勝尾寺川に沿った谷に古くから農業集落が形成されており、起伏に富んだ地形となっている
なりたち	・勝尾寺への参詣道として、昔から多数の人が行き交う道沿いに集落が形成された ・川合地区・山の口地区と呼ばれ、それぞれが独立した自治会組織によって村の行事が運営されている
自然	・地区南部にはため池・山林が残る ・勝尾寺川は自然が残る河川で、ホタルが飛ぶ様子も見られる
農業	・一帯はかつて酒米やビワの栽培が盛んだった ・農家が点在、稲作が営まれており不耕作地も少ない ・勝尾寺川、裏川と幾つかのため池から用水が引かれ、2 つの水利組合が所管
景観	・勝尾寺川と水田、山林が一体となった景観が広がっており、茨木箕面丘陵線から一望できる
土地利用	・田 (17.7ha/46.8%) 山林 (11.8ha/31.1%) 集落地 (2.9ha/7.6%) ・北部は水田と集落、地区南部は山林が残る
開発動向	(地区内) ・勝尾寺川沿いに集落・南に向かってまとまった農地・ため池が広がり、大きな開発等は起こっていない ・茨木能勢線の沿道では多種の土地利用が混在している ・茨木箕面丘陵線・モノレール専用道の整備に伴い、地区が東西に分断されているが、沿道の土地利用に変化は見られない (地区外) ・茨木市側は市街化調整区域の農村集落（宿久庄（しゅくのしょう））があり、集落・農地の景観が連続している ・北西部（栗生間谷東一丁目）は農地・ため池の市街化が進んでいる ・老人福祉施設の立地が見られる ・南部の山林は所有者の意向により今後開発される可能性もある ・茨木能勢線沿いには、彩都の整備に伴う沿道系の商業店舗（コンビニエンスストア）や賃貸マンションが立地している
基盤整備の状況	・彩都への主要アクセスルートとなる茨木箕面丘陵線・モノレール専用道が開通 ・彩都（茨木市側）の整備が進む
地区まちづくりの経緯	・国際文化公園都市（茨木箕面丘陵線、モノレール）に関連して、面整備の検討が行われた経緯がある（地区北側） ・平成 7 年にまちづくり協議会が立ち上げられ、勉強会やワークショップなどを経て、平成 11 年に区画整理事業実施について同意を取りまとめられたが、目標（80%）を下回り、取り組みは中止された

(土地利用現況-H18 年度)



注：都市計画基礎調査のデータによるが、実際の土地利用の現状とはずれがある

土地利用種別	色	面積 (ha)	割合 (%)
一般市街地	赤	0.05	2.1
集落地	黄	2.9	7.6
田	緑	17.7	46.8
山林	茶	11.8	31.1
水面	青	0.8	4.5
道路・鉄軌道敷	紫	0.4	5.4
公共施設	黒	0.05	1.2
其他空地	白	0.05	1.1

